帯大谷V9年ぶり全国へ

女子団体

バドミントン道高校新人大会北北海道予選

バドミントンの第54回道高校新人大会兼第50回全国高校選抜大会北海道予選会（1月13～15日・岩見沢スポーツセンターなど、道バドミントン協会主催）で、帯大谷女子（菅原詩月主将、濱下亜美、中鉢青空、高木沙英＝以上2年、木村百華、江口碧、長谷川莉奈＝以上1年）が団体戦で、9年ぶり5回目の優勝を果たした。帯大谷男子（三好海智主将、瀬藤智史、廣瀬大城＝以上2年、松本悠汰、野崎逸斗、濱下虎哲、菅原一聡＝以上1年）は、団体戦準優勝の成績を収めた。個人戦では、濱下が女子シングルスで準優勝、江口が3位。濱下と江口が組んで臨んだダブルスは準優勝だった。ダブルスの十勝勢はほかに、本間陽・藤川麻愛組（帯柏葉1年）が3位。男子ダブルスでは、瀬藤・廣瀬組と、越川匠・高橋吏玖組（帯柏葉2年）が3位だった。同シングルスは、瀬藤と松本が3位。帯大谷女子は団体戦で全国大会（3月25～28日・栃木県宇都宮市）の出場権を得た。（新井拓海）

女子団体戦で優勝の帯大谷。前列右から2人目が菅原詩月主将

菅原・木村組チームの柱に

エースの濱下・江口組も奮闘

帯大谷女子が、旭川南との決勝を3―2で制し、9年ぶりの栄光をつかんだ。

第1ダブルスの菅原詩月主将・木村百華組が、確実に流れを呼び込んだ。2人は、本来のペアではない。ただ、昨年12月の十勝地区大会では、2人で組んで勝利し、チームの大きな原動力となった。エース格の濱下亜美、江口碧だけではなく、チームの柱として、今回も奮闘した。

入江優喜監督の激励も胸に、木村は「十勝大会では声を出して押し切った。今回もチームの雰囲気をつくって最後までアタックする。先陣を切って勝つ」と自らを鼓舞。その固い決意を表すかのように、息の合った菅原主将も躍動した。後衛の木村がスマッシュで相手を崩すと、甘い返球には菅原主将の鋭い羽根で攻撃した。

相手がペースを変えようと、前後に揺さぶってきた場面では、菅原主将が努力の成果を発揮。地区大会ではラリー時、フットワークに課題を感じた。その反省を生かし、今大会までに正規のペアとの練習の時も、足を動かし続けることを常に意識してきた。木村とローテーション良く攻め、「他のメンバーも勝たなきゃと思ってくれたと思う」と、確実に1勝目をつかんだ。

今大会の個人戦ダブルスの覇者でもある相手の嶋村瑞希・獅子原瑚桜組（2年）に、第2ダブルスの濱下亜美・江口碧組は敗北。しかし、それぞれがシングルス（S）で臨んだ戦いで奮起した。気持ちを切り替え、第2Sを戦った濱下は、「シングルスは自分の方が経験値がある。相手より動けた」と、自信を持ってプレー。獅子原に対して、得意のフォアからのクロスカットも武器に、2―0で勝利した。「自分で全国が決まる」と、嶋村に臨んだ第3Sの江口は第1セット、16―19から追い上げた。自分のミスでの失点があった序盤を反省し、終盤のラリーは決め急がずに粘った。好機を見極め放った170㌢の長身からの落差ある羽根も光り、ストレート勝ちで優勝を決めた。

第1Sの中鉢青空は、決勝で敗れたものの、「他地区の選手のプレーを見て、ささいなことでも収穫になった。メンタルも強化したい」と、次戦を見据えた。

入江監督は「全国レベルではまだまだのチーム。足を使ってプレーすることが必要」と話す。菅原主将は「全国でも勝利をつかめるように、全員で協力して戦いたい」と力を込めた。

男子団体は準優勝

男子団体戦で準優勝の帯大谷。前列中央が三好海智主将

光る連係と筋力強化

帯大谷男子が着実に力を増している。決勝は旭川実に1―3で敗れたものの、「実力の差は縮まってきている」と、三好海智主将は話した。

前チームも全道高体連の決勝で競り負けた宿敵に、結果では及ばなかったものの善戦した。

相澤俊彰監督は「飛び抜けた選手はいないので、基本に目を向けてきた。世代交代してから成長し、努力している」と評価する。

新チームとして始動後、まずは体をつくるために、ベンチプレスやスクワットを中心に筋力を強化してきた。「個人個人が限界まで追い込んだ」（三好主将）と、鍛え抜いた肉体を土台に、ショットのタイミングやストロークを磨いてきた成果が表れつつある。

旭川実戦では瀬藤智史・廣瀬大城組が勝利。瀬藤は「やってきたことは間違いではなかった」。増強された力に加えて、「試合前後も試合中も、普段から『こうしたら勝てる』と、常に2人で話し合っている。他のペアより会話が確実に多く、共通の意識がある」（廣瀬）と、連係の良さも光った。2―0の結果で、相手にペースを握らせなかった。

全道の頂点、全国の舞台を目指し、チームはさらなる成長を果たす。「モチベーションと技術の差がないように共有し合えば、チーム全体が強くなる」と、三好主将は力を込める。這い上がる気持ちと団結力で突き進んでいく。

かちまいスポーツ

女子団体戦で優勝の帯大谷。前列右から2人目が菅原詩月主将

写真がほしい▼0120・25・9410　ファクス▼0155・25・2700
著作権などにより販売できない写真もあります　Eメール▼sports@kachimai.co.jp

【女子】〈団体戦〉▽1回戦 釧路明輝 3―0 帯柏葉（関係分と決勝）▽2回戦 帯南商 3―1 旭川商 / 帯三条 3―1 旭川実 / 帯大谷 3―0 帯網走桂陽 / 旭川南 3―0 帯柏葉 / 帯大谷 3―1 旭川実 / 帯大谷 3―0 旭川西 / 帯大谷 3―1 旭川南 / 帯大谷 3―1 旭川実 / ▽準々決勝 帯大谷 3―0 名寄 / 帯三条 3―1 帯大谷 / 旭川南 3―2 旭川実 / 帯大谷 3―1 旭川実 / ▽決勝 帯大谷 3―2 旭川南 / 〈個人戦〉◇ダブルス▽1回戦 中鉢青空・木村百華（帯大谷）2―0 藤川麻愛・本間陽（帯柏葉）/ 高木沙英・菅原詩月（帯大谷）2―1 田嶋花梨・田中彩音（釧路北陽）/ 稲川琳・工藤美衣奈（稚内大谷）2―0 中村萌々・石川穂乃花（釧路江南）/ 渡辺結衣・高橋花綸（網走南ケ丘）2―0 半澤楓・中野亜子（奈井江商）/ 熊谷星来・川西美咲（帯南商）2―0 内田千晴・奥田梨乃（帯三条）2―0 大坂夏里奈・狩野叶花（旭川商）2―0 中鉢・木村 / ▽2回戦 高木・菅原 2―0 本間・藤川 / 松浦日菜乃・吉田莉麻（旭川実）2―0 内田・奥田 / 濱下亜美・江口碧（帯大谷）2―0 本間・藤川 / ▽準々決勝 松浦・吉田 2―0 高木・菅原 / 濱下・江口 2―0 土佐梨緒菜・三上優那（旭川実）/ 内田・奥田 2―0 新保怜那・松倉亜弥（旭川西）/ 鈴木結女・滝川凜（岩見沢西）/ 佐藤凜紅・柴田優来（旭川商）/ 帯大谷 3―0 旭川大谷 / 帯柏葉 3―0 帯三条 / ▽準決勝 帯大谷 3―0 岩見沢農 / 帯柏葉 3―0 岩見沢緑陵 / ▽準々決勝 帯大谷 3―0 旭川大谷 / 帯柏葉 3―0 帯紋別工 / 帯三条 3―1 滝川西 / 帯柏葉工 3―2 釧路湖陵 / 帯大谷 3―0 旭川実 / 稚内大谷 3―0 帯柏葉 / 帯大谷 3―0 帯工 / ▽2回戦 旭川実 3―0 帯三条 / 帯柏葉 3―0 帯大谷 / ▽準決勝 帯大谷 3―0 帯柏葉 / 旭川実 3―0 帯大谷 / ▽決勝 帯大谷 3―0 旭川実 / 〈個人戦〉◇ダブルス▽1回戦 瀧ケ平羽玖・若杉翔也（武修館）2―0 菅原聡・高砂翔吾（帯大谷）/ 松本悠汰・大越蒼生（帯大谷）2―0 菅野愛都・野崎逸斗（帯大谷）/ 島田涼・濱下虎哲（帯大谷）2―0 矢田目璃輝・細川翔也（稚内大谷）/ 佐々木小次郎・北條李桜（北見柏陽）/ 深川西 / ▽2回戦 松本・菅原 2―0 瀬藤智史・廣瀬大城（帯大谷）2―0 早川悠月・舟山宗汰（滝川西）/ 越川匠・高橋吏玖（帯柏葉）2―0 加藤翔稀・清水遥（武修館）/ 鎌倉天起・滝川智史（旭川実）/ 菅野・野崎 2―1 橋本・高橋（帯柏葉）2―0 越川・高橋 / ▽準決勝 瀬藤・廣瀬 2―1 新堂春輝・渡部蓮（旭川実）/ 菅野・野崎 2―0 佐々木・伊藤（旭川実）/ 小島・中村 2―0 伊藤彰悟（旭川実）/ ▽準々決勝 佐々木・伊藤 2―0 小島・中村 / 佐々木・瀬藤（帯大谷）2―0 松本・菅原 / 佐々木・伊藤 2―0 小島・中村 / ▽決勝 佐々木・伊藤 2―0 小島・中村 / ◇シングルス▽1回戦 成田颯馬・岩見沢緑（帯大谷）2―0 野崎逸斗（帯大谷）/ 松本悠汰（帯大谷）2―0 渡部竜士（陵）/ 瀧ケ平羽玖・武修館（帯大谷）2―1 濱下虎哲（帯大谷）/ 三好海智（帯大谷）2―0 橋向竜生（稚内大谷）/ ▽2回戦 渡部蓮（旭川実）2―1 野崎 / 松本 2―1 森山稀生（旭川実）/ 瀬藤智史（帯大谷）2―0 新堂春輝（旭川実）/ 佐々木颯太（旭川実）2―0 三好 / ▽準々決勝 松本 2―0 伊藤彰悟（旭川実）/ 瀬藤 2―0 中村樹希（旭川実）/ ▽準決勝 小島滉貴（旭川実）2―1 佐々木 / 松本 2―0 瀬藤 / ▽決勝 佐々木 2―1 小島滉貴（旭川実）

【男子】〈団体戦〉▽1回戦 旭川実 3―1 帯大谷 / ▽決勝 旭川実 3―0 武帯修柏館葉 / 〈個人戦〉◇ダブルス▽1回戦 瀧ケ平羽玖・若杉翔也（武修館）2―0 菅原聡・高砂翔吾（帯大谷）/ 菅野愛都・野崎逸斗（帯大谷）2―0 島田涼・濱下虎哲（帯大谷）/ ▽2回戦 松本・菅原 2―0 瀬藤智史・廣瀬大城（帯大谷）2―0 越川匠・高橋吏玖（帯柏葉）/ 菅野・野崎 2―1 鎌倉天起・滝川智史（旭川実）/ 清水遥・加藤翔稀（武修館）2―0 舟山宗汰・滝川西（帯大谷）/ 佐々木小次郎・北條李桜（深川西）/ 大越蒼生・若杉翔也（稚内大谷）/ 矢田目璃輝・細川翔也（北見柏陽）/ 小島滉貴・中村樹希（旭川実）/ ▽準々決勝 佐々木颯太・伊藤彰悟（旭川実）2―0 松本・菅原 / 瀬藤智史・廣瀬大城（帯大谷）2―0 島田・濱下 / 瀬藤・廣瀬 2―1 新堂春輝・渡部蓮（旭川実）/ 菅野・野崎 2―0 越川・高橋 / ▽準決勝 佐々木・伊藤 2―1 瀬藤・廣瀬 / 小島・中村 2―0 越川・高橋 / ▽決勝 佐々木・伊藤 2―1 瀬藤・廣瀬 / 小島・中村 2―0 越川・高橋 / ◇シングルス▽1回戦 佐々木・伊藤 2―0 小島・中村 / 松本悠汰（帯大谷）2―0 野崎逸斗（帯大谷）/ 瀧ケ平羽玖（武修館）2―1 濱下虎哲（帯大谷）/ 三好海智（帯大谷）2―0 橋向竜生（稚内大谷）/ ▽2回戦 渡部蓮（旭川実）2―1 野崎 / 松本 2―1 森山稀生（旭川実）/ 瀬藤智史（帯大谷）2―0 新堂春輝（旭川実）/ 佐々木颯太（旭川実）2―0 三好 / ▽準々決勝 松本 2―0 伊藤彰悟（旭川実）/ 瀬藤 2―0 中村樹希（旭川実）/ ▽準決勝 小島滉貴（旭川実）2―1 松本 / 佐々木 2―0 瀬藤 / ▽決勝 小島 2―0 佐々木 / 小島滉貴（旭川実）2―1 佐々木 / 松本 2―0 瀬藤